



2026年8月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年10月15日

上場会社名 プリモグローバルホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 367A URL <https://www.primoghd.co.jp/ja/index.html>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤野 直樹
問合せ先責任者 (役職名) 管理管掌執行役員 (氏名) 佐田 大輔 (TEL) 03(6226)6261
定時株主総会開催予定日 2026年11月26日 配当支払開始予定日 2026年11月27日
有価証券報告書提出予定日 2026年11月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の連結業績 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	31,571	12.7	3,903	24.6	3,460	26.6	2,395	34.1	2,395	34.1	4,474	91.9
2025年8月期	28,002	12.5	3,132	39.4	2,732	59.4	1,786	55.3	1,786	55.3	2,331	79.1

	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後 1株当たり当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%		%		%	
2026年8月期	273	23	259	00	12.2		7.2		12.4	
2025年8月期	204	25	195	27	10.6		6.0		11.2	

(参考) 持分法による投資損益 2026年8月期 △32百万円 2025年8月期 △23百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円		百万円		百万円		%		円	銭
2026年8月期	50,352		21,354		21,354		42.3		2,372	47
2025年8月期	45,949		18,052		18,052		39.2		2,060	58

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
2026年8月期	4,749		△1,407		△3,083		4,049	
2025年8月期	4,705		△222		△4,003		3,743	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	%	%
2025年8月期	—	0.00	—	105.00	105.00	918	51.4	5.1
2026年8月期	—	60.00	—	60.00	120.00	1,063	43.9	5.1
2027年8月期(予想)	—	65.00	—	66.00	131.00		40.6	

3. 2027年8月期の連結業績予想 (2026年9月1日～2027年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	34,800	10.2	4,800	23.0	4,300	24.3	2,900	21.1	2,900	21.1	322	86

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
- 新規 1社(社名) Primo Diamond Malaysia Sdn. Bhd. 、除外 1社(社名) —
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年8月期	8,982,203株	2025年8月期	8,747,143株
2026年8月期	—株	2025年8月期	—株
2026年8月期	8,766,762株	2025年8月期	8,747,143株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年8月期の個別業績(2025年9月1日~2026年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	3,291	14.3	2,456	19.9	2,100	30.6	2,209	28.0
2025年8月期	2,879	300.6	2,049	—	1,608	—	1,727	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期	252.07	238.94
2025年8月期	197.44	188.77

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	26,113	9,753	37.2	1,080.93
2025年8月期	24,882	8,716	34.9	993.22

(参考) 自己資本 2026年8月期 9,709百万円 2025年8月期 8,687百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社グループは、2024年8月期から国際会計基準(以下、「IFRS」という。)を適用しております。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(3) 2026年10月15日に当社ウェブサイト(<https://www.primoghd.co.jp/ir/>)に決算説明資料を掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年9月1日～2026年8月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられ、全体として緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇や中東情勢をめぐる動向等が個人消費に及ぼす影響については、引き続き注視が必要な状況となります。

当社グループが事業を展開するブライダルジュエリー市場におきましては、結婚指輪の購入率が高い水準で安定的に推移する中、平均単価の上昇を背景に市場規模は拡大傾向にあります。また、商品品質やデザインに加えて、ブランドの信頼性や接客サービスの重要性が一層高まっております。

このような事業環境の下、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上収益31,571百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益3,903百万円（前年同期比24.6%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益2,395百万円（前年同期比34.1%増）となりました。売上収益・営業利益・親会社の所有者に帰属する当期利益は、いずれも過去最高となり、2025年3月に発表した3か年の中期経営計画（2025年8月期～2027年8月期）の売上収益および利益の目標を、1年前倒しで達成しました。

また、当連結会計年度末時点でのグローバル店舗数は136店舗（期首時点は134店舗）となりました。

当連結会計年度において当社グループは、企業理念「最高（プリモ）の夢（おもい）を最高（プリモ）の幸（かたち）に」の実現に向け、高品質なジュエリーと日本流のきめ細やかな接客サービスを強みとして、国内外におけるブランド価値および顧客体験価値の向上に取り組むとともに、海外市場における新規出店の推進により、業績を拡大してまいりました。また、利益面については、プラチナなどの貴金属価格の高騰が売上総利益率の低下要因となりましたが、国内外における商品価格の段階的な見直しおよび「LAZARE DIAMOND（ラザールダイヤモンド）」のダイヤモンド調達権の取得による中間マージンの削減などの原価改善の取り組みにより、売上総利益率は第3四半期を底として回復に転じております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（国内事業）

国内事業の当連結会計年度における売上収益は20,236百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は2,916百万円（前年同期比17.1%増）となり、増収増益となりました。商品価格の見直しにより客単価が上昇したことに加え、客数も堅調に推移したことにより、売上収益が伸長しました。また、「LAZARE DIAMOND」ブランドについては、ポップアップイベント「DIAMOND CAFE」の開催や、ファッションメディア・SNSでのプロモーションを強化するなど新たな顧客接点の創出により、全店舗において過去最高の売上収益となりました。

商品面では、「I-PRIMO（アイプリモ）」および「LAZARE DIAMOND」両ブランドにおける新作の発表に加え、婚約指輪に使用するダイヤモンドについて、当社グループが求める高い品質基準をプロダクション工程から監修した「PRIMO QUALITY DIAMOND」や、独自の「着け心地メソッド」を採用した軽やかな着け心地の商品、独自組成の新素材である「パールブラウンゴールド」を使用した商品など、オリジナリティのある付加価値商品も、引き続き多くのお客様からご支持をいただきました。

（海外事業）

海外事業の売上収益は11,336百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益は986百万円（前年同期比53.9%増）となり、増収増益となりました。海外事業比率は、売上収益において35.9%、セグメント利益において25.3%となりました。日本で培った商品品質、接客サービスおよび店舗運営のノウハウを活用するとともに、新規出店や現地に最適化したプロモーションにより、ブランド認知および価値の向上に取り組みました。

中国本土においては、6月に主要都市である深セン市に3号店となる「I-PRIMO Shenzhen Bay MixC Store」を出店しました。また、7月には2016年の上海市への1号店出店から10周年を迎えました。通期業績は2期連続の増収増益となり、当社グループの海外事業を牽引しております。

東南アジアにおいては、シンガポールに続く新たな進出先として、マレーシアに1号店となる「I-PRIMO SEIBU The Exchange TRX」を出店しました。引き続き東南アジア市場での事業基盤の構築を進めてまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における資産、負債及び資本の状況は次のとおりです。

流動資産は13,391百万円となり前連結会計年度末に比べ879百万円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物が305百万円増加、棚卸資産が478百万円増加したことによるものであります。

非流動資産は36,960百万円となり前連結会計年度末に比べ3,522百万円増加しました。これは主に、のれんが1,352百万円増加、無形資産が1,764百万円増加、使用権資産が439百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は50,352百万円となり前連結会計年度末に比べ4,402百万円増加しました。

また、流動負債は10,486百万円となり前連結会計年度末に比べ479百万円増加しました。これは主に、借入金が200百万円増加、契約負債が439百万円増加したことによるものであります。

非流動負債は18,511百万円となり前連結会計年度末に比べ621百万円増加しました。これは主に、借入金が158百万円増加、引当金が212百万円増加、繰延税金負債が282百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債は合計28,997百万円となり前連結会計年度末に比べ1,101百万円増加しました。

資本は合計21,354百万円となり前連結会計年度末に比べ3,301百万円増加しました。これは主に、剰余金の配当1,443百万円を実施した一方、当期利益を2,395百万円計上したことにより利益剰余金が952百万円増加、在外営業体の換算差額の発生等によりその他の資本の構成要素が2,094百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ305百万円増加し、4,049百万円となりました。

また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は4,749百万円(前年同期は4,705百万円の獲得)となりました。

これは主に、税引前当期利益が3,460百万円(前年同期は2,732百万円)、減価償却費及び償却費の計上が2,047百万円(前年同期は2,162百万円)あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,407百万円(前年同期は222百万円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が221百万円(前年同期は160百万円)、無形資産の取得による支出が1,165百万円(前年同期は273百万円)、敷金及び保証金の回収による収入が78百万円(前年同期は257百万円)あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は3,083百万円(前年同期は4,003百万円の使用)となりました。

これは、長期借入れによる収入が1,400百万円(前年同期はリファイナンスによる長期借入れによる収入が14,031百万円)、長期借入金の返済による支出が1,156百万円(前年同期は、リファイナンスによる長期借入金の返済による支出が14,031百万円、その他長期借入金の返済による支出が1,805百万円)、リース負債の返済による支出が2,128百万円(前年同期は2,198百万円)、株式の発行による収入が235百万円(前年同期は該当なし)、配当金の支払額が1,433百万円(前年同期は該当なし)あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の事業環境については、国内では雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移することが期待される一方、物価上昇や貴金属価格の変動等が消費動向および当社グループの収益に影響を及ぼす可能性があります。海外においても、中国本土をはじめとする各地域の景気動向や消費動向、地政学的リスク等について、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、2027年8月期から2029年8月期までの3か年を計画期間とする新たな中期経営計画「PRIMO Beyond 2029」を策定いたしました。本計画期間を「グローバル展開の加速フェーズ」と位置づけ、国内外でブランド価値を高めるとともに、中国本土および東南アジアを中心とした海外展開の加速、マルチブランド戦略およびライフパートナー戦略の推進により、さらなる事業成長と企業価値向上を目指してまいります。

中期経営計画の最終年度である2029年8月期には、売上収益410億円、営業利益70億円、親会社の所有者に帰属する当期利益45億円およびROE17.5%の達成を目標としております。また、財務・資本戦略として、成長投資と株主還元の両立を図り、配当性向40%以上を継続するとともに、本計画期間中に総額35億円を目安とした自己株式取得を実施する方針です。

中期経営計画の初年度となる2027年8月期については、国内におけるブランド価値および顧客体験価値の向上、中国本土および東南アジアを中心とした海外展開の推進、ならびにマルチブランド展開の拡大等に取り組み、売上収益34,800百万円、営業利益4,800百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益2,900百万円を見込んでおります。なお、年間配当金については131円を予定しております。

なお、中期経営計画の詳細につきましては、本日公表しております「中期経営計画『PRIMO Beyond 2029』策定に関するお知らせ」および説明資料をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上、並びに海外関係会社を含む当社グループの連結財務諸表作成の円滑化を目的として、2024年8月期から国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,743	4,049
営業債権及びその他の債権	2,087	1,926
棚卸資産	6,630	7,108
その他の金融資産	—	37
その他の流動資産	50	268
流動資産合計	12,512	13,391
非流動資産		
有形固定資産	1,354	1,452
のれん	16,491	17,843
無形資産	10,029	11,794
使用権資産	3,322	3,762
持分法で会計処理されている投資	105	77
その他の金融資産	1,351	1,356
繰延税金資産	780	664
その他の非流動資産	1	9
非流動資産合計	33,437	36,960
資産合計	45,949	50,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,778	1,678
契約負債	3,602	4,041
借入金	996	1,196
未払法人所得税等	510	420
リース負債	1,684	1,809
引当金	13	1
その他の流動負債	1,423	1,338
流動負債合計	10,007	10,486
非流動負債		
借入金	12,447	12,606
リース負債	2,945	2,914
引当金	200	412
繰延税金負債	2,282	2,564
その他の非流動負債	13	13
非流動負債合計	17,889	18,511
負債合計	27,896	28,997
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,860	7,115
利益剰余金	6,278	7,230
その他の資本の構成要素	4,813	6,908
親会社の所有者に帰属する持分合計	18,052	21,354
資本合計	18,052	21,354
負債及び資本合計	45,949	50,352

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上収益	28,002	31,571
売上原価	9,937	12,415
売上総利益	18,064	19,156
販売費及び一般管理費	14,743	15,294
その他の収益	143	156
その他の費用	331	114
営業利益	3,132	3,903
金融収益	95	95
金融費用	472	506
持分法による投資損失	23	32
税引前当期利益	2,732	3,460
法人所得税費用	946	1,064
当期利益	1,786	2,395
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,786	2,395
当期利益	1,786	2,395
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	204.25	273.23
希薄化後1株当たり当期利益(円)	195.27	259.00

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期利益	1,786	2,395
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	544	2,078
小計	544	2,078
税引後その他の包括利益	544	2,078
当期包括利益	2,331	4,474
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,331	4,474
当期包括利益	2,331	4,474

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の資本 の構成要素	合計	
2024年9月1日残高	100	8,647	2,705	4,248	15,700	15,700
当期利益			1,786		1,786	1,786
その他の包括利益				544	544	544
当期包括利益	—	—	1,786	544	2,331	2,331
株式報酬				21	21	21
欠損填補		△1,786	1,786		—	—
所有者との取引額等合計	—	△1,786	1,786	21	21	21
2025年8月31日残高	100	6,860	6,278	4,813	18,052	18,052

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の資本 の構成要素	合計	
2025年9月1日残高	100	6,860	6,278	4,813	18,052	18,052
当期利益			2,395		2,395	2,395
その他の包括利益				2,078	2,078	2,078
当期包括利益	—	—	2,395	2,078	4,474	4,474
株式報酬				35	35	35
剰余金の配当			△1,443		△1,443	△1,443
新株予約権の行使	127	127		△19	235	235
減資	△127	127			—	—
所有者との取引額等合計	—	254	△1,443	15	△1,173	△1,173
2026年8月31日残高	100	7,115	7,230	6,908	21,354	21,354

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	2,732	3,460
減価償却費及び償却費	2,162	2,047
減損損失	248	107
受取利息	△8	△13
支払利息	468	498
持分法による投資損益 (△は益)	23	32
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△58	△204
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△456	11
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△7	△156
契約負債の増減額 (△は減少)	687	274
その他	122	△66
小計	5,914	5,991
利息の受取額	8	13
利息の支払額	△410	△347
シンジケートローン手数料の支払額	△52	—
法人所得税の支払額又は還付額 (△は 支払)	△753	△907
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,705	4,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△160	△221
無形資産の取得による支出	△273	△1,165
敷金及び保証金の差入による支出	△45	△53
敷金及び保証金の回収による収入	257	78
その他	—	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222	△1,407
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	14,031	1,400
長期借入金の返済による支出	△15,836	△1,156
リース負債の返済による支出	△2,198	△2,128
株式の発行による収入	—	235
配当金の支払額	—	△1,433
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,003	△3,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	47
現金及び現金同等物の増減額 (△は減 少)	543	305
現金及び現金同等物の期首残高	3,199	3,743
現金及び現金同等物の期末残高	3,743	4,049

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社の事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分を決定し、また業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

なお、報告セグメントの決定に際して集約された事業セグメントはありません。

当社グループは、主にジュエリーを販売しており、国内と海外の各市場の特性に応じた包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループの事業は、地域別に構成されており、「国内事業」と「海外事業」を報告セグメントとしております。

「国内事業」は、プリモ・ジャパン株式会社が国内において事業を営んでおり、「海外事業」は、海外子会社5社が中華圏（中国、台湾、香港）、シンガポール及びマレーシアにおいて事業を営んでおります。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの会計方針は、当社グループの会計方針と同一であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の内部取引における価額は、独立企業間価格に基づいております。

報告セグメントの売上収益及び利益並びに資産に関する情報は、以下のとおりです。

前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	国内	海外	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	17,542	10,460	28,002	—	28,002
セグメント間の売上収益	6	—	6	△6	—
合計	17,548	10,460	28,008	△6	28,002
セグメント利益（営業利益）	2,491	641	3,132	△0	3,132
金融収益	—	—	—	—	95
金融費用	—	—	—	—	△472
持分法による投資損失（△）	—	—	—	—	△23
税引前当期利益	—	—	—	—	2,732
セグメント資産	22,289	24,800	47,089	△1,139	45,949
資本的支出	817	968	1,786	—	1,786
（その他の項目）					
減価償却費及び償却費	△1,032	△1,130	△2,162	—	△2,162
減損損失	△56	△192	△248	—	△248
持分法で会計処理されている投資	—	105	105	—	105

（注）セグメント間の売上収益及びセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去及び未実現利益の控除によるものです。また、セグメント資産の調整額は、セグメント間債権債務消去及び報告セグメントに帰属しない全社資産です。

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	国内	海外	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	20,234	11,336	31,571	—	31,571
セグメント間の売上収益	2	0	2	△2	—
合計	20,236	11,336	31,573	△2	31,571
セグメント利益（営業利益）	2,916	986	3,903	0	3,903
金融収益	—	—	—	—	95
金融費用	—	—	—	—	△506
持分法による投資損失（△）	—	—	—	—	△32
税引前当期利益	—	—	—	—	3,460
セグメント資産	25,107	27,185	52,292	△1,939	50,352
資本的支出	2,483	1,217	3,700	—	3,700
（その他の項目）					
減価償却費及び償却費	△1,086	△961	△2,047	—	△2,047
減損損失	△62	△45	△107	—	△107
持分法で会計処理されている投資	—	77	77	—	77

（注）セグメント間の売上収益及びセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去及び未実現利益の控除によるものです。また、セグメント資産の調整額は、セグメント間債権債務消去及び報告セグメントに帰属しない全社資産です。

（3）製品及びサービスに関する情報

単一の製品及びサービス区分の外部顧客への売上収益が、連結損益計算書の売上収益の殆どを占めております。

(4) 地域に関する情報

売上収益及び非流動資産（金融商品、繰延税金資産、持分法で会計処理されている投資を除く）の地域別内訳は以下のとおりです。

外部からの顧客収益

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
日本	17,542	20,234
台湾	4,030	3,802
中国本土	4,278	5,236
その他	2,150	2,297
合計	28,002	31,571

（注）売上収益は、当社グループの事業拠点の所在地を基礎として分類しております。

非流動資産

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
日本	12,406	13,731
台湾	5,197	5,235
中国本土	10,565	12,462
その他	3,031	3,433
合計	31,200	34,862

(5) 主要顧客に関する情報

外部顧客への売上収益のうち、連結損益計算書の売上収益の10%以上を占める主要な顧客はありません。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益並びにその算定上の基礎は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益		
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,786	2,395
親会社の普通株主に帰属しない当期利益	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,786	2,395
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する普通株主に係る当期利益	1,786	2,395
発行済普通株式の期中平均株式数	8,747,143株	8,766,762株
希薄化後1株当たり当期利益の算定に用いられる期中平均普通株式数		
普通株式増加数		
ストック・オプションによる増加	402,004株	481,761株
希薄化後発行済普通株式の加重平均株式数	9,149,147株	9,248,523株
基本的1株当たり当期利益	204.25円	273.23円
希薄化後1株当たり当期利益	195.27円	259.00円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。